

簡易検流計・直流電流計の使い方と注意点

50mA 500mA 5A +の端子
-の端子

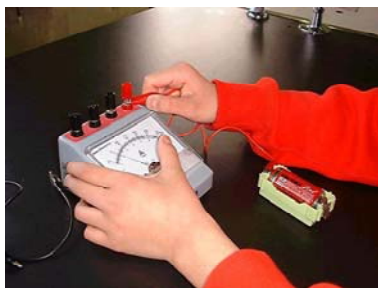


直流電流計

簡易検流計

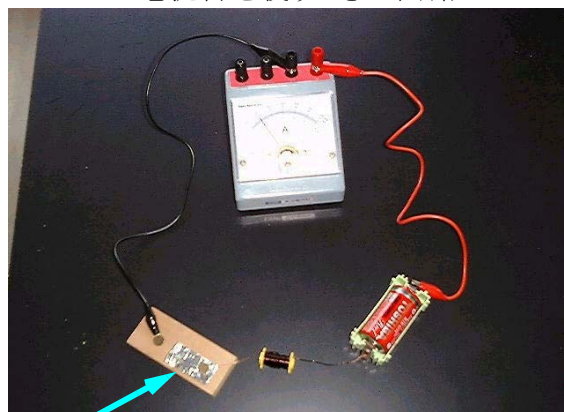
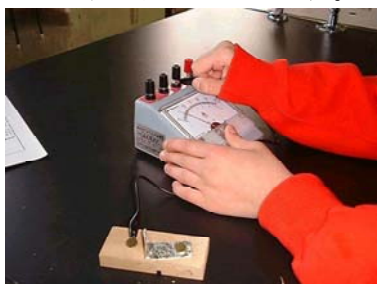


- 電流計の+の端子には、乾電池の+極側につないだ導線をつなぎます。



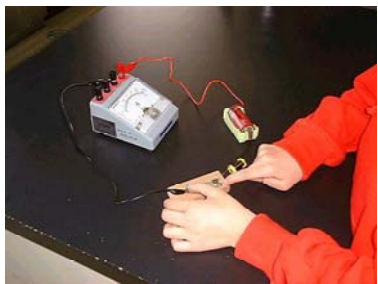
電流計を使うときの回路

- 電磁石などの導線の一方を5A(アンペア)の(-)端子につなぎ、もう一方の導線を、乾電池の-極側につなぎます。



スイッチ

- スイッチを入れて、電流計の針のふれを見る。針のふれが小さいときは、500mAの端子につなぎ直します。



- 使う前に、テスト回路を一度作ってから、調べたい部分を切り離して、(+)側の切り口を(+)の共通端子に、(-)側は容量の大きな5A端子につなぐようにします。

- 5A端子に(-)側をつないで針があまりふれないときは、500mA端子につなぎ直し、それでもダメなときは50mAにというように順々に切り替えて使います。

- 使用するときには必ず抵抗(豆電球・モーター等)を入れるようにしましょう。